

藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル審査要領

1 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号をすべて満たす事業者（以下「提案者」という。）を対象に行う。

- (1) 藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）で参加資格確認結果通知書（様式第 5 号）を受けていること。
- (2) 実施要領に規定する期限内に、必要な書類のすべてを提出していること。
- (3) 実施要領に基づき、適正に書類を作成していること。

2 審査概要

審査方法は、事務局の評価点、評価者の評価点、見積金額の評価点（価格点で構成される得点で競うものとする。評価点の内訳は、別紙 1 「藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル評価点内訳」のとおりとする。

各項目については以下のとおり、「4 評価点算出方法」に基づき点数化する。

- (1) 事務局評価点 50点
提出書類の「業務実績」の項目について事務局が書類審査を行い、点数化する。
- (2) 評価者評価点 1200点
提案書及びプレゼンテーションの内容について評価者が点数化する。
- (3) 価格点 400点
見積金額について事務局が点数化する。

3 審査手順

- (1) 実施要領で求めるプロポーザル参加資格を有することの確認を行う。
- (2) 事務局は提出書類の内容について評価を行う。評価の詳細は「4 評価点算出方法（1）事務局評価点」のとおりとする。
- (3) 提出された見積金額を「提案見積金額」とし、提案者の中で最も安価な提案見積金額を「提案者中最低見積金額」とする。評価の詳細は「4 評価点算出方法（2）価格点」のとおりとする。
- (4) 提案書類に基づき、プロポーザル参加者によるプレゼンテーションを開催する。なお、提案者が 5 者以上の場合は、事務局評価点及び価格点による審査を行い、上位 4 者のみがプレゼンテーションを実施できるものとする。

- (5) プレゼンテーション終了後、評価者は提案書類及びプレゼンテーションの内容について、別紙2「藤沢市次期学校ICT基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル評価基準」に基づき、提案項目に対しての評価を行う。評価の詳細は「4 評価点算出方法(3) 評価者評価点」及び「5 評価者評価項目」のとおりとする。
- (6) 最高評価点と同点の場合、見積額が低い事業者を優先交渉権者と決定する。
- (7) 優先交渉権者との協議が整わない場合は、次点者と協議を行う。
- (8) プロポーザル参加者が1提案者のみの場合には、評価者評価点の合計点数が720点以上であることを優先交渉権者の条件とする。

4 評価点算出方法

(1) 事務局評価点

提出書類の内容について、別紙3「藤沢市次期学校ICT基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル事務局採点表」(非公開)に基づき事務局が評価を行い、点数化する。評価項目については「導入実績」とする。

【配点上限】

50点

(2) 価格点

見積金額について、見積書(様式第8号)をもとに事務局が次の計算式に基づき点数化する。

なお、計算された価格点に端数が生じた場合は、小数点第一位を四捨五入する。

【価格点計算式】

$(\text{提案者中最低見積金額} \div \text{提案者見積金額}) \times \text{配点上限}$

【配点上限】

400点

(3) 評価者評価点

提案書及びプレゼンテーションの内容について評価者が点数化する。評価項目の詳細については、「5. 評価者評価項目」のとおりとする。

評価項目に対する評価点は次のとおり設定する。

ア 評価についてはAランクからDランクまでの4段階評価とする。評価の計算については次のとおりとする。

なお、計算された評価点に端数が生じた場合は、小数点第一位を四捨五入する。

【計算式】

各評価項目の配点×評価係数＝評価点

イ 評価係数については次の表のとおりとする。

【評価項目の目安】	【評価係数】
A ランク：非常に優れている	= 1. 0
B ランク：優れている	= 0. 7
C ランク：やや劣っている	= 0. 3
D ランク：劣っている，又は記述がない	= 0. 0

【配点上限】

1 2 0 0 点

5 評価者評価項目

評価項目は次のとおり設定する。

評価者は別紙4「藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル評価者採点表」（非公開）に基づき評価を行う。

(1) 基本事項

ア 基本的な考え方

イ 実施体制

ウ スケジュール

(2) ゼロトラストネットワーク構築に向けた関連システム、ハードウェア更新の整備計画及び学校 I C T 基盤構成図の作成

ア 目的、コンセプトの設定

イ 学校 I C T 基盤構成図の作成

ウ 学校 I C T 基盤整備計画の作成

(3) IDaaS 選定のための基礎調査

ア 本市環境に即した最適な IDaaS サービスの調査

(4) その他

ア 業務品質を高めるための付加価値

以 上

藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル評価点内訳

1. 書類審査

評価の内容	評価の基準	配点
提出書類 (1) 事業者としての 業務実績	評価点＝ 都道府県教育委員会、市町村教育委員会におけるゼロ トラストネットワーク構築業務を都道府県教育委員会、 市町村教育委員会単位で受託した実績に応じて配点す る。 ・ 1 件＝10 点とし、実績数に乗じた点数。 50 点（5 件×10 点）を上限とする	50
小計		50

2. 提案書及びプレゼンテーション

評価の内容	評価の基準	配点
提案書 (1) 基本事項 基本的な考え方 実施体制 スケジュール (2) ゼロトラストネ ットワーク構築 に向けた関連シ ステム、ハード ウェア更新の整 備計画及び学校 I C T 基盤構成 図の作成 (3) IDaaS 選定のた めの基礎調査 (4) その他	評価点＝ 評価者評価点：持ち点200点×6人 ※計算された評価点に端数が生じた場合は、小数点第一 位を四捨五入する。	1, 200
小計		1, 200

3. 見積金額

評価の内容	評価の基準	配点
導入経費、設定経費を含めた見積金額	価格点＝ (提案者中最低見積金額÷提案見積金額)×配点上限 ※計算された価格点に端数が生じた場合は、小数点第一位を四捨五入する。	400
小計		400

合計

1,650

藤沢市次期学校 I C T 基盤整備計画等支援業務委託公募型プロポーザル評価基準

提案書記載項目	評価内容
1 基本事項	
ア	基本的な考え方 ① 提案内容全体に積極的な姿勢が示されているか。 ② 本業務の目的及び当市の課題を正確に理解できているか。 ③ 上記に基づき、提案者から本業務を遂行する上での基本方針が具体的に示されているか。 ④ 提案内容全体に積極的な姿勢が示されているか。
イ	実施体制 仕様書を踏まえた上で、体制、計画について、提案者と当市双方の役割分担等について、具体的な対応方針が示された提案となっているか。
ウ	スケジュール 本業務の詳細な想定作業スケジュールが示されているか。 ① 各工程の必要期間が示されているか。 ② 上記スケジュールは実現可能かつ余裕のあるものとなっているか。 ③ スケジュールの策定にあたり考慮すべき事項が示されているか。
2 ゼロトラストネットワーク構築に向けた関連システム、ハードウェア更新の整備計画及び学校 I C T 基盤構成図の作成	
ア	目的、コンセプトの設定 仕様書で示している現行システムにおける課題及び教育データの利活用に対する要望を整理した上での目的、コンセプト設定が期待できる提案になっているか。
イ	学校 I C T 基盤構成図の作成 上記ア及び国の方針、先行事例等を考慮し、当市環境に即した学校 I C T 基盤構成図の作成することが期待できる提案になっているか。
ウ	学校 I C T 基盤整備計画の作成 次期システム整備に向けて、システム化の目的、背景、目標、実現方式、実装機能等を明確にした学校 I C T 基盤整備計画を作成することが期待できる提案になっているか。
3 IDaaS 選定のための基礎調査	
ア	当市環境に即した最適な IDaaS サービスの調査 セキュリティ、ユーザ管理、端末利用者利便性、利用場所等の観点から課題、要望の整理を行った上で当市環境に即した最適な IDaaS サービスの調査ができる提案となっているか。
4 その他	
ア	業務品質を高めるための付加価値 ① 本業務の品質を高めるための有用な追加提案等を行うことができるか。 ② 本業務に対する独自性があるか。